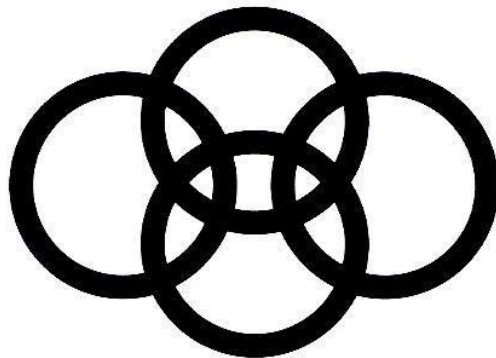


令和7年度

運営に関する計画



大阪市立四貫島小学校

大阪市立四貫島小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

Ⅰ 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は大正8年(1919)に創立し、100年を越える歴史と伝統に支えられた学校である。校訓にある「明るく 仲よく 健やかに」育って欲しいという保護者や地域の方々の強い願いや、教育に対する熱き思いが基になって、先駆的な四貫島の教育が今も昔と変わらずなされている。新学習指導要領に基づいたICT教育、道徳、外国語活動など率先した学習指導を行っており、また、創立以来、本校には子どもを中心に据えた教育を学校・保護者・地域が連携して脈々と取り組んできた伝統がある。その伝統を受け継ぎ、学校・地域を愛し、わが学校・わが地域に誇りをもてる子どもを育てていくことが本校の使命であり、大きな課題と捉える。

大阪市教育振興基本計画に則り、全ての子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力を備え、健やかに成長し、自立した個人として自己を確立することをめざすとともに、グローバル化が進展した世界において、多様な人々と協働しながら持続可能な社会を創造し、その担い手となることをめざしていく。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- ◎令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童生徒の割合を、90%以上にする。
- ◎毎年度末の校内調査において、不登校の児童生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。
- ◎毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童生徒の改善の割合を、毎年、増加させる。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童(生徒)の割合を令和3年度(90.5%)より2%増加させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまり(規則)を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を92%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査の「友達一人一人のちがいを大切にしている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、90%以上にする

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ◎○令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を35%以上にする。
- ◎○令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を50%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ◎令和7年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童(生徒)の割合を、100%にする。
- ◎ゆとりの日については、週1回以上設定する。
学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。
- 令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、76.5%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

◎小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。

	R5	R6
全体	78%	83.3%

◎小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

	R5	R6
全体	83.7%	77.4%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

◎小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を45%以上にする。

	R5	R6
全体	38.9%	44.8%

◎小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。

	R5	R6
全体	69.7%	67.1%

【学びを支える教育環境の充実】

◎授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。

	R6
全体	24.5%(1月現在)

◎「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰ（時間外勤務時間Ⅰか月45時間以下かつ年間360時間以下）を満たす教職員の割合を75%以上にする。

	R5	R6
基準Ⅰ達成率	73.7%	65%(1月現在)

3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式2)

大阪市立四貫島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標		達成 状況
【最重要目標Ⅰ 安全・安心な教育の推進】		
◎小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。		
	R5	R6
全体	78%	83.3%
◎小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。		
	R5	R6
全体	72.5%	77.4%

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>学校行事や安全教育を通して、生活規律や学習規律を重んじ、自らを律することができる力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none">生活目標を日常的に意識できるように、児童朝会（毎週）での確認や、学校のきまりチェック（毎月）、朝の放送（毎日）での意識付けを行う。また、主体的に安全を守る行動ができるように強調週間を設ける。いじめについて考える日（学期1）を設定し、人権読本や副読本を用いて、命の大切さや個性を認め合うことの良さについて考えることで、児童の人権感覚を養う。		
<p>指標</p> <p>年間2回実施する校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。</p> <div>R6 最終 低98% 高97.9% 全97.9%</div>		
<p>取組内容②【2 豊かな心の実現】</p> <p>肯定的な声かけを行ったり、指導者と保護者が連携し、毎日の成長を伝えたりすることで、自己肯定感を高める。また、委員会活動やクラブ活動、学級での係活動などを中心に、児童が責任感をもって取り組み、自己有用感を高める。</p> <ul style="list-style-type: none">校内委員会（月1）や四貫島の子どもを語る会（年2）を設定し、教職員の連携を密にするとともに、保護者、地域との連携を図る。		
<p>指標</p> <p>年間2回実施する校内調査における「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。</p> <div>R6 最終 低90% 高79.1% 全84.5%</div>		

取組 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
【取組内容①】 【取組内容②】
来年度に向けての改善点
【取組内容①】 【取組内容②】

(様式2)

大阪市立四貫島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標		達成状況						
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>◎小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を45%以上にする。</p> <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>全体</td><td>38.9%</td><td>44.8%</td></tr></table>			R5	R6	全体	38.9%	44.8%	
	R5	R6						
全体	38.9%	44.8%						
<p>◎小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。</p> <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>全体</td><td>69.7%</td><td>67.1%</td></tr></table>			R5	R6	全体	69.7%	67.1%	
	R5	R6						
全体	69.7%	67.1%						

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>主体的に学習に取り組む態度を育成するために、話し合い活動を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none">・自分の考えを持ちたり、振りがえったりするための学習活動の工夫・ペアやグループなど、多様な学習形態での話し合い活動 <p>友だちの意見を聞いて自分の考えを深められる、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを確立していく。</p>	
<p>指標</p> <p>年間2回実施する校内調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。」の項目について最も肯定的な回答する児童の割合を50%以上にする。</p> <div>R6 最終 低67% 高46.9% 全56.9%</div>	
<p>取組内容②【5 健やかな体の育成】</p> <p>生涯にわたり体を動かすことを楽しみ態度を育成するため、体育科の学習や「四貫島体力向上計画」の内容を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none">・「ボールタイム」や「なわとびタイム」、「かけあしタイム」の実施・ゲストティーチャーやトップアスリートを招いた授業の実施	
<p>指標</p> <p>年間2回実施する校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目に最も肯定的な回答する児童の割合を70%以上にする。</p> <div>R6 最終 低79% 高66.7% 全72.8%</div>	

<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>
<p>【取組内容①】</p> <p>【取組内容②】</p>
<p>来年度へ向けての改善点</p>
<p>【取組内容①】</p> <p>【取組内容②】</p>

(様式2)

大阪市立四貫島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標		達成 状況										
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>◎授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。</p> <table><tr><td></td><td>R6</td></tr><tr><td>全体</td><td>24.5%(1月現在)</td></tr></table> <p>※1日平均活用率 74.41%</p> <p>◎「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰ(時間外勤務時間1か月45時間以下かつ年間360時間以下)を満たす教職員の割合を75%以上にする。</p> <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>基準Ⅰ達成率</td><td>73.7%</td><td>65%(1月現在)</td></tr></table>			R6	全体	24.5%(1月現在)		R5	R6	基準Ⅰ達成率	73.7%	65%(1月現在)	
	R6											
全体	24.5%(1月現在)											
	R5	R6										
基準Ⅰ達成率	73.7%	65%(1月現在)										
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗 状況										
<p>取組内容①【6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>デジタル教材を活用した朝学習や家庭学習を積極的に実施し、ICTの活用を推進する。学習者用端末を利用し、児童の心の状態や日々の状況を可視化し、いじめ・不登校などの未然防止・早期発見・迅速な対応をする。</p> <p>指標 年間2回実施する校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。</p> <table><tr><td>R6最終</td><td>低83.7%</td><td>高32%</td><td>全体57.9%</td></tr></table>		R6最終	低83.7%	高32%	全体57.9%							
R6最終	低83.7%	高32%	全体57.9%									
<p>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>勤務時間の変更、校務支援を活用した会議の効率化を図り、教職員が働きやすい環境づくりを進める。「ゆとりの日」を週に1回設定し、見通しをもった働き方を行い、その日は定時退勤に努める。</p> <p>指標 ゆとりの日を、毎週1回設定する。</p>												
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析												
【取組内容①】												
【取組内容②】												
来年度へ向けての改善点												
【取組内容①】												
【取組内容②】												